Trans Japan Alps Race 2012選考会

・**期日**：　2012/7/7(土)～8(日)

・**場所**：　南アルプス・北部（駒ヶ根市、伊那市、南アルプス市）

・**コース**：駒ヶ根高原～市野瀬～仙丈ヶ岳～両俣小屋（泊）～仙丈ヶ岳～北沢峠～仙流荘

駒ヶ根高原～柏木　　（ロード：28Km）
柏木～両俣～北沢峠　（登山道：柏木～両俣小屋CT14：20、両俣小屋～北沢峠CT9：30）
北沢峠～仙流荘　　（ロード：20km）

・**選考内容**

a. 山岳フィールド/山での走力+下界/ロードにおける走力(参加条件に準ずる)
b. ビバーク技術
c. 生活技術
d. 読図力
e. 危険予測、回避力
ｆ. その他

Trans Japan Alps Race 2012 に出場するためには、この選考会に参加し、基準を満たした上で、実行委員会の承認を得なくてはならない。

・**人数**：　50名（本大会参加を希望する人のみ参加可能）

・**寄付金**：　6,000円（GPSトラッキングシステム利用料及びＣＰスタッフの宿泊・交通費等に使用する。）

・**本大会エントリーへのフロー**

① 参加を希望される方は、参加条件(別途記載)を満たしている事を確認の後、参加確認書に必要事項を記入し、実行委員会/岩瀬までメールもしくは FAX にて送ること。
受付期間：2012/4/1(日)～2012/5/22(火)必着
② 大会実行委員会は書類選考を行い、参加を希望される方(以下、選手と記載)に対し、2012/6/3(日)までに選考会へのエントリー可否を連絡する。
③ 選考会へのエントリー可の連絡があった選手は、参加申込書に必要事項を記入し誓約書へ署名・捺印を行い、山岳保険の写しを添え 2012/6/17(日)必着にて、実行委員会/岩瀬まで郵送すること。
④ 大会実行委員会は選考会計画書を作成し、参加選手に配布する。(詳細は、別途連絡)
⑤ 選手は、選考会に参加し、選考基準をクリアすることにより、本大会参加資格を得る事が出来る。
⑥ 実行委員会は、本大会参加資格を取得した選手に対して、本大会計画書を配布する。
（詳細は、別途連絡）

※前回(TJAR2010)完走者で、今回(TJAR2012)参加を希望される方へ
　参加条件(別途記載)を満たしている事を確認の後、参加確認書に必要事項を記入し、2012/5/22(火)必着にて大会事務局/岩瀬まで送ること。選考会において運営スタッフとして参加することで、本大会への参加資格を得ることができる。詳細は、実行委員会/岩瀬へ問い合わせること。

・**参加条件**(書類選考基準)･･･2011～2012の実績

1. TJAR 本大会を想定した長時間行動後、標高 2,000m以上の場所において、2 回以上の**ビバーク体験**があること。⇒露営技術
2. １日に、コースタイム 20 時間以上の山岳トレイルコースをコースタイムの 55%以下のタイムで走りきれる体力と全身持久力を有すること。⇒山岳/走力
   例：日本山岳耐久レース(71.5km)レベルの大会において、11 時間 10 分以内で完走できること。
3. フルマラソンを 3 時間 20 分以内あるいは 100km マラソンを 10 時間 30 分以内に完走できる体力を有すること。⇒平地/走力
4. 山岳保険(捜索、救助等を含む)に、必ず加入していること。⇒山岳保険加入
5. リスクマネジメント(危機管理)に対して
   ①事前にリスクを回避する《危険回避能力》
   ②アクシデント発生時に対応できる《事故対応能力》を身につけていること。
   ⇒リスクマネジメント
6. 自己責任の法則･･･「すべての責任は、自らに帰する」ことを自覚して行動できること。
   ⇒自己責任の認識
7. 選考会1ヶ月前までに、医師診断書もしくは人間ドッグ結果報告書(但し、心身ともに異常なきこと)を提出すること。⇒診断書提出
8. 選考会開催日において20歳以上である事。

ビバーク体験：ツエルト＋レスキューシート（もしくはシュラフカバー)のみで、ひと晩を過ごす事。
ただし、以下のようなビバークは不可とする。

① 富士山五合目もしくは乗鞍岳畳平まで車で行き、駐車場でビバーク
② 中央アルプス・ロープウエイを利用して中岳キャンプ場でビバーク

＊必須条件･･･1，4～8
＊書類選考における参考条件(実行委員会が同等の力を有することを認めた者)･･･2，3

・選考会ルール

この選考会は速い選手のみを選び出すのが目的でなく、危険で過酷なトランスジャパンアルプスレースを安全に運営していくための選考の場である。スピーディな行動は大事だが安全への意識、適切な判断ができるか、自分の力が正確に把握できているのか？その人の総合的な力を見る為である。

① タイムスケジュール

集合　7日　3：00　集合　駒ヶ根高原（菅の台バスセンター）
　　装備チェック、ブリーフィング
　　6：00　スタート
　　11：00　市野瀬関門　を通過する事
　　20：30　両俣小屋　に到着する事
　　2：00　両俣小屋　スタート
　8日　8：30　北沢峠関門
　　11：00　仙流荘（ゴール）
　　ゴールした人より順次筆記試験を行う。
　　筆記試験終了後、解散。

② コース上の指定されたチェックポイント(以下CP)を、走り＋歩きのみで忠実に繋ぐこと。
CPを通過しなかったり、交通機関を利用してはならない。

CP
市野瀬（入野谷）
仙丈ヶ岳
両俣小屋
仙丈ヶ岳
北沢峠

③ スタート前に装備チェックを行う。事前に指定する必須装備全てを持たなければ出場できない。
コース状況の変化により装備変更する場合がある。

④ 自己の力が正確に把握できているか？コースの状況を的確に予測できるか？を見るために各CPへの予定到着時間を記入した行動予定表を事前に提出する事。この予定に沿ってどれだけ忠実に行動できたかを見る。選考会当日はもう一枚行動予定表を用意し実際の時間を書き込む。両俣小屋にて行動予定表を回収する。特別な気象条件、残雪の影響などは考慮する。

⑤ 読図力を見るために柏木～両俣小屋間でラインオリエンテーリングを実施する。コース上にポストを設置してあるので、その位置を正確に地形図（1/25000）に書き込む事とする。コンパス、高度計付き腕時計は使用可。GPS機器は使用不可。地形図は、スタート前に配布し、両俣小屋で回収する。

⑥ 両俣小屋にて露営・生活技術のチェックとして、ツエルト（シェルター）の設営、撤収、パッキングを評価する。

⑦ 危険予測回避力をチェックするために仙流荘ゴール後ただちに筆記試験を行う

⑧ 大幅なコースミス、行動不能になるなどの問題行動は失格とする。

⑨ ビバークができる装備(レスキューシート、ツエルト等)を常時携行すること。

⑩ 必要な装備類(行動用具、露営用具、炊事用具等)および食料は各自準備し自ら背負い移動すること。
ただし、山小屋や食堂等での食事、商店での食料購入は可とする。

⑪ 家族や友人等からのサポート(以下の行為)は禁止とする。

a.選手および選手の持ち物に触れること

b.選手との物品の受け渡し(ゴミ、不用品、さしいれ等含む)

c.選手の荷物搬送

d. 選手の行動にシンクロナイズした伴走およびそれに類する行為

⑫ ⑪の行為に掛からない範囲での応援、観戦については制限しない

⑬ 宿泊は、すべて露営(テント、ツエルト等)のみとする。露営は、緊急時のビバークを除き、自然公園法に則りキャンプ地に指定された場所で行なう。
山小屋、避難小屋、旅館等での宿泊および仮眠は禁止する。ただし、雷や動物等により生命の危機が予測される場合は、一時避難としてそれらを利用してもよい。

⑭ 個人的な食料および燃料のデポは禁止する。（ただしスタート～ゴール間の荷物搬送は可）

⑮ 下界はもちろんであるが、山中においても常に登山マナーを尊守し、謙虚に行動すること。
山小屋、お店等に迷惑をかけないこと(特に夜間の利用に注意) 山小屋利用時間は4:00～18:00とする。

⑯ やむなき事情によりリタイアした場合は、速やかに本部へ連絡し、指示を仰ぐこと。その場合、車が乗り入れできる所まで下山したら、本部まで必ず連絡する事

⑰山岳保険(捜索、救助等を含む)には、必ず加入していること。

⑱選考会中は常にゼッケンが見える様にする事。（ザック用ゼッケン）

⑲自己責任の法則　このレースは、参加者自らが主催者である。
レース中に、怪我や事故および遭難等のアクシデントが発生しても
「すべての責任は、自らに帰する」ことを誓約できる方のみ、エントリーが可能。

＊競技ルールをしっかり尊重してレースをおこなうこと。
これらに反した行為をおこなった場合は、失格とする。速やかに大会本部に報告して指示を仰ぐこと。

＊第三者から大会本部に、競技ルールに違反した選手がいる旨の通報があった場合
大会本部は、該当選手に対してメール等により事実有無の確認を行う。
違反行為を行った事実が確定した時点で、その選手は失格となる。

前回の選考会　スタート前集合写真（2010年6月26～27日）

・その他

a.　スタート～ゴール間のデポ(一時預かり)品を預かる事は可能。おおむね7Kg以内で一梱包とする。

b.　怪我・事故・遭難等が発生した場合、応急処置は行うが、それ以降の対応は一切行わない。

c.　選手選考会は、日程・コース・内容等について、余儀無く変更する場合がある。

・ボランティアスタッフ募集

選手の行動把握、安全確認等を目的として、両俣小屋常駐員、スイーパー等のお手伝いをしていただけるボランティアスタッフを募集します。希望される方は、実行委員会/岩瀬までご連絡ください。

・問い合わせ先

Trans Japan Alps Race 2012 実行委員会/岩瀬　幹生

〒4444 - 0124　　愛知県額田郡幸田町深溝明本田30－2

FAX　：0564-62-6671

mail：mikio.iwase@nifty.com